

リフォームする? 建て替える?

家族が増えた。あちこち傷んできた。一戸建て住宅も築20年を超えてくると、建て替えようか？リフォームしようか？と悩む時期にさしかかるのではないでしょか。
しかし一概に築年数だけではどちらが最善か判断できません。
建物の状態によってはリフォーム工事で十分な場合もあるのです！

「建て替え」と「リフォーム」をメリット・デメリットで比較すると…

	メリット	デメリット
建て替え	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>ライフシーンに合った思い通りのプランや間取りにできる。<input type="checkbox"/>耐震・断熱・防音など最新にできる。<input type="checkbox"/>低金利の住宅ローン借入が可能。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>まだ使える部分も壊さなければならない。<input type="checkbox"/>引っ越しや仮住まいが必要。<input type="checkbox"/>リフォームに比べて費用がかかる。
リフォーム	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>使える部分を再利用してコスト削減。<input type="checkbox"/>住みながら工事の場合は仮住まい不要。<input type="checkbox"/>廃棄物が少なく、エコ。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>大きな間取り変更が難しい。 (建物の工法によって差がある)<input type="checkbox"/>最新設備にするにはコスト高のケースや、不可能な場合も。<input type="checkbox"/>内容によっては建て替えと同程度の費用がかかる。

検討のポイント

現状把握

現状調査で建物の状況を把握する。

家族で話し合い

家族全員の今後のライフスタイルを考え、予測しましょう。

比較の方法

間取り、耐震・断熱など費用にあった性能が得られるか。仮住まいや税金などを含めた総支出額で検討。

どちらが向いてる？

「建て替え」が向いているのは…

- 資金の目処が立つ。
- リフォームの見積もりと大差なかった。
- 既存建物は耐震性に問題あり。
- 2世帯住宅にしたい。

「リフォーム」が向いているのは…

- 躯体部分はまだもつと言われた。
- リフォームでも十分納得いくプランだった。
- 建て替えの1/3程度の予算で済みそうだ。
- 将来、子供達は独立するだろう。

MEMO リフォーム費用が建て替え費用の70%を超えるような場合は建て替えの検討余地が十分にあります。

ご来店いただければ個人的なケースに合わせ、様々な角度の情報でご相談に対応します。

是非一度、お越しいただきお気軽にご相談ください。相談料は一切かかりません。